

3月13日に建設消防委員会を開催し、本会議から付託された議案9件を審査しました。

議案第6号 平成23年度総社市一般会計補正予算（第6号）について

のうち、本委員会の所管に属する部分について

～内容～

清音神在本線改良事業費、南溝手支線3024号道改良事業費等の確定見込みに伴う補正が主なもの。

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：平成23年度において清音神在本線改良事業、南溝手3024号道改良事業、軽部南北ほか1線改良事業の事業費はいくらになるのか。

答：補正後の事業費は清音神在本線改良事業が約7億5百万円、南溝手支線3024号道改良事業が約1千4百万円、軽部南北ほか1線改良事業が1千5百万円である。

問：今回、清音神在本線改良事業の橋脚工事の工期を延期するが、予定どおりに平成26年度中に全工期を終了できるのか。

答：工事が延期されたが、全工程に支障はなく平成26年度中に工事を終了する。

議案第12号 総社市総社駅南地区土地区画整理事業費 特別会計補正予算（第3号）について

～内容～

家屋等の移転補償に係るものの繰越明許費が主なもの。

～結果～

質疑、討論もなく、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第27号 岡山県南広域都市計画

総社駅南地区土地区画整理事業施行条例の一部改正について

～内容～

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律による土地区画整理法の改正に伴い、関係条文の整備を行おうとするもの。

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：地域主権一括法の成立を受け本市はどのように対応していくのか。

答：先行きが見えていないのが現状である。

議案第 28 号 総社市営住宅管理条例の一部改正について

～内容～

地域の自主性及び自立性を高めるための改革推進を図るための関係法律整備に関する法律による公営住宅法等の改正に伴い、関係条文の整備を行おうとするもの。

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：入居の手続きが請書から契約書になった場合、法的な効力はどうなるのか。

答：契約ということにおいては、請書も契約書も変わらないが、契約書には滞納がある場合はどうなるという条項があるため、そういう面では厳格化になるのではないかと。

問：権限委譲により入居者資格の内容を変更できるのか。

答：権限委譲されているので変更は可能である。ただし、入居者資格の金額的なものの改正が平成 21 年 4 月 1 日にされたばかりであるため、今、変えると混乱を招く恐れがある。

議案第 29 号 総社市手数料条例の一部改正について

～内容～

地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、関係条文の整備を行おうとするもの。

～結果～

質疑、討論もなく、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第 37 号 平成 24 年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計予算について

～内容～

家屋の移転補償費、道路の築造が主なもの。

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：保留地の売り払い条件と現状はどうなっているのか。

答：保留地の面積は約 1,240 ㎡、場所は常盤小学校が 542 ㎡で残りの約 700 ㎡は付け保留地である。処分費は 7,100 万円を予定している。

昨年末に一般競争入札で 7 件の保留地の売り払いを行ったが、売り払いができたのは 1 件のみ、面積が 226 ㎡、金額は約 1,170 万円である。その他については売り払いをしているということをホームページ、広報などで再度 PR をし、売り払いを進めていく。

問：平成 24 年度末での事業の進捗見込みはどうなるのか。

答：進捗状況は事業費では 92.6%、家屋移転では約 95.6%という状況である。

議案第 40 号 市道の路線認定について
議案第 41 号 市道の路線変更について
議案第 42 号 市道の路線廃止について

～内容～

道路整備等に伴い、市道の認定、変更及び廃止をしようとするもの。

～結果～

質疑、討論もなく、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

一般会計予算審査特別委員会から分担された部分を審査するため、3 月 13 日に建設消防分科会を開催しました。

議案第 30 号 平成 24 年度総社市一般会計予算

～結果～

次のような審査の結果、本分科会に分担された部分については、全員一致で**可決**すべきであると取りまとめることに決定。

～質疑～

問：清音神在本線改良事業の今後の予定はどうか。

答：工事は平成 26 年度末までに全て終わる見込みである。

問：土木担当員からの要望で道路新設、維持、改良費は増えているのか。

答：地域応援課分は平成 22～24 年は 1 億 1 千万円程度で推移しており、変わっていない。市民に身近な予算については減らさないという考え方で予算編成を行っている。

問：市営住宅の滞納の状況と維持管理としてシロアリの駆除を長良と浅尾で行うが、他の市営住宅も行うのか。

答：市営住宅の滞納現状については50万円以上の滞納者が24名いる。シロアリの駆除は対象住宅を計画的に行っている。

問：消防施設費の中で昭和出張所の整備費用はどの程度なのか。

答：約3億6600万円のうち、昭和出張所の新築計画では基本設計と実施設計を合わせて2300万円、地質調査350万円、用地の買い戻し約1億4000万円、用地の造成1900万円である。平成25年度に建物を建築し、26年4月には開所したいと考えている。